

第1節 地球環境・自然環境

【現状と取り組むべき課題】

- ・これまで海洋ごみや河川ごみの発生抑制に関する啓発活動を展開、また、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の発出、「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の制定を進めてきました。今後は世界に誇れる環境先進都市の実現を目指し、2030年までを目標とした使い捨てプラスチックごみゼロの実現など、さらに多角的な取組みを進めるとともに、流域の自治体や全国の他都市とのネットワークの構築を進める必要があります。
- ・再生可能エネルギーの利活用や亀岡ふるさとエナジー株式会社設立によるエネルギーの地産地消を促進するとともに、市独自の環境マネジメントシステムを運用し、温室効果ガスの総排出量削減目標を達成してきました。脱炭素化をさらに進めるため、こうした取組を継続・加速するとともに、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用を推進していく必要があります。
- ・市民団体との協働により、広域的な環境学習拠点として特色ある自然体験型環境学習事業を実施しており、今後もその充実を図る必要があります。
- ・アユモドキを始めとする多様な生態系は本市の貴重な財産であり、これまでも河川護岸工事における環境にやさしい工法工種の採用、各種指導や規制、調査、パトロールなどにより生態系及び環境の保全に取り組んできました。今後も市民とともに自然環境の保全に取り組むとともに、河川区域内における自然護岸、親水護岸や定期的な監視を引き続き推進していく必要があります。
- ・市民や団体との協力により、ポイ捨て等禁止条例に基づく環境美化や河川愛護、森林保全を推進してきましたが、市民の関心をさらに高め、主体的な活動を促進していく必要があります。

【施策の方向性】

2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指す取組をきっかけとして、「環境×経済×社会」が一体となった持続可能なまちづくりの推進を図るとともに、亀岡ふるさとエナジー株式会社を中心として、市民、事業者、行政が協働で脱炭素化に取り組むまちづくりを推進します。また、市民・関係団体との連携・協働により、「亀岡生き物大学」を中心とした自然体験型環境学習の充実、森林保全の普及啓発、河川の整備や維持管理など、環境にやさしいまちづくりを推進します。

- 1 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の推進
- 2 脱炭素化のまちづくり
- 3 自然体験型の環境学習
- 4 自然環境の保全と整備
- 5 市民活動の推進

【具体的施策】

1 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の推進

漂着ごみ海洋ごみや河川ごみの発生抑制に関する環境保全啓発 取組主体：協働

「川と海つながり共創プロジェクト」と連携した、環境教育・漂着ごみ調査・清掃活動事業「保津川の日」を行うなど、市民、NPO、事業者、行政との協働による漂着ごみ海洋ごみや河川ごみの発生抑制に向けた環境保全啓発活動を推進します。

エコバッグ持参率 100%を目指す取り組みの推進 取組主体：協働

プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行により、エコバッグ持参率の向上とごみの減量化を推進し、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。

ペットボトルの削減を目指す取り組みの推進 取組主体：協働

公共施設や市内店舗と連携し、マイボトルで亀岡のおいしい水を給水できる給水スポットづくりを推進します。

世界に誇れる環境先進都市・亀岡のブランド力向上 取組主体：協働

積極的かつ多様な環境保全活動を展開するとともに、環境教育の推進や環境と芸術とのコラボレーションにより新たな価値を創造するなど、「環境×経済×社会」が一体となった持続可能なまちづくりを進めることで、亀岡の魅力向上につなげます。

2 低炭素化のまちづくり

再生可能エネルギー利活用の推進 取組主体：協働

地域新電力会社である亀岡ふるさとエナジー株式会社との連携により、市内の再生可能エネルギー（太陽光、小水力、消化ガスなど）を最大限活用できるよう調査・研究を実施し、エネルギーの地産地消を推進します。

木質バイオマスのエネルギー利活用の推進 取組主体：協働

木質バイオマスのエネルギー利活用について、再生可能エネルギーとして、広域的な施設も含めて取り組みを推進します。

省エネルギー化の推進 取組主体：行政

市民や事業者に対し、地球温暖化対策や省エネルギーに関する情報発信を推進します。また、独自の環境マネジメントシステムの運用により、市の事務・事業における省エネルギー化をさらに推進します。

3 自然体験型の環境学習

自然・環境体験学習の充実

取組主体：行政

本市の豊かな自然を活かし、地球環境子ども村事業「亀岡生き物大学」や、協定締結企業と連携した環境学習授業を中心とした、特色ある自然体験型の環境・ふるさと学習の充実を図ります。

4 自然環境の保全と整備**環境の保全と創造**

取組主体：協働

環境の保全及び創造に関する長期的な目標と施策の方向を示した亀岡市環境基本計画に基づく取り組みを推進します。

アユモドキの保護保全及び生物多様性の維持保全

取組主体：協働

アユモドキの保護保全活動を協働で実施し、アユモドキが安定して生息できる環境を創出するとともに、希少な野生生物の生物多様性の維持保全を図ります。

環境、生態系にやさしい水辺環境づくり

取組主体：行政

護岸工事などの際、環境にやさしい工法工種を採用し、豊かな生態系の復活を図ることにより、自然とのふれあいの場を提供する施設を整備します。

安全・安心を守る環境保全監視活動の実施

取組主体：協働

環境保全監視活動を実施し、市民の公害不安の解消と安全・安心の確保を図ります。

5 市民活動の推進**ポイ捨て撲滅を目指す取り組みの推進**

取組主体：協働

ポイ捨て等禁止条例に定める「かめおか環境デー」の取組みなど、ポイ捨て防止重点地域を中心に、市民、事業者、行政が一体となった清掃活動や啓発活動などを広く展開します。

環境美化意識に関する新たな仕組みづくり

取組主体：協働

ポイ捨て防止重点地域であるJR各駅及びトロッコ亀岡駅周辺を中心とした清掃活動を実施するとともに、「エコウォーカー」による清掃活動の拡大を図ります。ボランティアによる新感覚での清掃活動「エコウォーカー」の取組み拡大を図ります。

河川愛護団体の育成及び活動支援

取組主体：協働

河川清掃や美化活動に支障をきたすことがないよう河川内を整備するとともに、案内板の設置や河川愛護団体の育成など、河川への関心を高める活動を支援します。

森林保全の普及啓発などの活動団体の支援充実

取組主体：協働

関係団体と連携し、森林保全の普及啓発などの活動団体の支援の充実を図ります。